

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-839-2771
	基本事業	浸水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 浸水対策施設整備事業(下水道整備課分)		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要
安全で安心して暮らし続けられるまちを実現するため、下水道事業計画区域内の浸水被害を受けている地域において、雨水を速やかに排除するポンプ施設や雨水管きよの計画的な整備を行う。中心市街地において西部バイパス幹線、日新ポンプ場の整備を進めるとともに、周辺市街地においても宮川幹線を始めとする雨水幹線や雨水ポンプ場の整備を行うなど、計画的に施設整備を行う。

2年度概要	【R2現】雨水管きよ整備 宮川雨水幹線工事	4200×2700mm	L=176m
	西部バイパス既設水路取込工事	2000mm	L=32m
重点取組事業	【R1線】雨水管きよ整備 西部バイパス幹線工事	3000mm	L=484m
	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	雨水対策整備対象区域
意図(どのような状態にしたいか)	雨水対策整備対象区域内において、浸水被害の軽減・解消を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
単年度雨水管きよ整備延長	m	539	1,053	664	250	1,487

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
雨水対策整備率	%	目標値	48.8	48.8	49.1	49.1	49.1
		実績値	48.8	48.8	48.8		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 雨水排水施設等の整備により、浸水被害の軽減・解消を図る。 (目標達成度)							(達成度) 99.4%
							34点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[円]	1,162,059	1,229,568	963,748	1,483,612
(事業費)	[円]	1,090,383	1,158,216	923,693	1,445,913
(職員人件費)	[円]	71,676	71,352	40,055	37,699

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

西部バイパス幹線工事について、県道内における到達立坑施工の検討・調整に期間を要し、幹線工事が繰越となった。中心市街地西部地区の浸水対策については、日新ポンプ場(仮称)の完成までに長期間を要するため、既設合流管等との接続工事及び仮設ポンプの設置を事前に進め、早期に効果を発現させる必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

浸水被害の著しい箇所について、費用対効果などを考慮し、緊急性の高いものから計画的に整備を行う。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道施設課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-842-5421
	基本事業	浸水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 浸水対策施設整備事業(下水道施設課分)		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	安全で安心して暮らし続けられるまちを実現するため、下水道事業計画区域内の浸水被害を受けている地域において、雨水を速やかに排除するポンプ施設や雨水管きよの計画的な整備を行う。中心市街地において、西部バイパス幹線、日新ポンプ場等の整備を進めるとともに、周辺市街地においても宮川幹線を始めとする雨水幹線や雨水ポンプ場の整備を行うなど、計画的に施設整備を行う。				
2年度概要	日新ポンプ場放流きよ整備				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務	

【事業の目的】

対象(何を)	雨水対策整備対象区域
意図(どのような状態にしたいか)	雨水対策整備対象区域内において、浸水被害の軽減・解消を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
単年度雨水管きよ整備延長	m		1,053	664	250	1,487

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	雨水対策整備率	%	目標値		48.8	49.1	49.1	49.1
			実績値		48.8	48.8		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 雨水排水施設等の整備により、浸水被害の軽減・解消を図る。 (目標達成度)							(達成度) 99.4% 34点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]		0	480,338	326,854
(事業費)	[千円]		0	472,484	319,000
(職員人件費)	[千円]		0	7,854	7,854

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
日新ポンプ場の実施設計業務について、関係機関と協議を行いながら、設計を完了した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
市内の浸水対策に資するため、日新ポンプ場の供用開始に向けて、建設工事を開始する。			